

基本構想

1 策定の趣旨

この基本構想は、松本市民がめざす将来の都市像とこれを実現するためのまちづくりの基本目標を示し、主役である市民と行政とが協働して取り組む、まちづくりの方針とするものです。

2 名称

この基本構想の名称は、「松本市基本構想2020」とします。

3 目標年次

この基本構想の目標年次は、西暦2020年度（平成32年度）とします。



4 人口の考え方

超少子高齢型人口減少社会の急激な進展により、目標年次における松本市の人口は、現在の24万2,000人から23万3,000人へ減少することが予測されています。

人口増加が難しい状況にある中で、20年先、30年先を見すえた、産業の育成、雇用の創出や魅力あるまちづくりなどの施策の積極的な展開により、定住人口と交流人口の増加に努めながら、現在の都市規模の確保をめざします。

5 将来の都市像

「健康寿命延伸都市・松本」

松本市は、雄々しき北アルプス、幾すじもの清流、さらには豊かな緑などの自然に恵まれたまちとして、また、国宝松本城をはじめとした歴史と伝統に培われた文化の薫り高いまちとして、先人たちのたゆまぬ努力により発展をしてきました。

私たちは、先人たちが築いたこのすばらしいまち「松本」を守り育てながら次代へと引き継いでいかなければなりません。

今後、超少子高齢型人口減少社会がさらに進展する20年先、30年先を見すえたとき、量から質へと発想を転換し、市民一人ひとりの命と暮らしを大切に考え、だれもが健康でいきいきと暮らせるまちを築くためには、健康寿命の延伸を図ることが重要です。

そこで、私たちは、「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像として掲げ、健康づくりを核として、経済、産業、観光、教育、環境、都市基盤など様々な分野が連携し、「心と体」の健康づくりと「暮らし」の環境づくりを一体的に進めます。

そして、互いに助けあい、学びあい、安心して暮らせる持続可能なまち、夢と希望にあふれ、住んでよかった、住んでみたいと思えるまちを、主役である市民と行政との協働で創造していきます。



6 まちづくりの基本目標

「健康寿命延伸都市・松本」の創造をめざし、次のまちづくりの基本目標を定めて、市民と行政との協働により進めていきます。

(1) だれもが健康でいきいきと暮らすまち

だれもが心も体も健康で、住み慣れた地域で心豊かに暮らすことができるよう、安らぎと潤いのあるまちづくり

(2) 一人ひとりが輝き大切にされるまち

一人ひとりが人として尊重され、質の高い暮らしを続けることができるよう、自助、共助、公助が調和するまちづくり

(3) 安全・安心で支えあいの心がつなぐまち

暮らしを支える社会基盤の充実と、防災対策と防犯への取組みにより、快適でゆとりのある日々を実感できるよう、地域ぐるみで助けあうまちづくり

(4) 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち

松本の豊かな自然環境を守り、快適な生活環境を整え、持続可能な循環型の社会を構築できるよう、市民、事業者などと行政が連携するまちづくり

(5) 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち

松本の資源と人材を活かして、産業基盤を強化し、地域のブランド力を高め、地域経済がさらに力強く発展するよう、人が行きかうまちづくり

(6) ともに学びあい人と文化を育むまち

薫り高い松本の文化を礎に、人と人とのつながりが深まり、自ら行動する未来の担い手が育つよう、豊かな人間性を育むまちづくり

